



平成31年度入学式



4月9日(火)、快晴で、校庭の満開の桜が出迎える中、平成31年度入学式が挙行されました。森下校長は、新入生201名に対して、高校生活で様々なことにチャレンジし、卒業後の厳しい社会で生き抜いていくよう自己をコントロールする力をつけてほしいと激励しました。

対面式・クラブ紹介



4月10日(水)、対面式が行われました。この式は、生徒会の生徒たちが運営し進めています。式のクライマックスで、緊張した面持ちの新入生に対して、在校生を代表して生徒

会副会長が歓迎のことばを述べ、新入生の代表も「上級生の皆さんよろしくお願ひします。」と元氣よく挨拶しました。

午後からは新入生へのクラブ紹介が行われ、体育・文化クラブがそれぞれ趣向を凝らし、楽しいクラブ紹介・勧誘となりました。

31年度各教科からの約束手形

本校では年度末の生徒による授業評価をもとに、生徒に対しての約束手形(今年度の授業の進め方や重点を置く点など各教科からの生徒への約束事)を出しています。

《国語》

- 漢字テストを週1回実施し、成績に入れます。
- 定期的にノート点検し、予習復習の習慣をつけさせます。
- 授業規律を乱す生徒の評価を厳しくします。

《社会》

- わかりやすく丁寧な授業を心がけていきます。
- 映像や資料を使用し、よりイメージできる授業を考えます。

《数学》

- 1年2年 普通科：週1回程度の問題集ノートの提出を課します。
- 商業科：年に6回程度問題演習ノートの提出を課します。

- 夏休みには全学年の生徒を対象に補習を行います。
- 1年生の週例テストでの成績不振者に対して特別補習を行います。

《理科》

- 宿題の内容を充実させ、家庭学習の習慣をつけさせます。
- 小テストを行い、基本事項の定着をはかります。
- 小テスト、実験レポート、宿題、自習課題も含め、全て評価の対象とします。

《英語》

- 商業科：全商英検対策を行います。
- 普通科：定期的な単語テストや3文テストを実施します。

《家庭》

- 板書、指示、説明を丁寧にし、ノート提出で確認します。
- 復習テストと定期テストを連動して取り入れます。
- 地域の食材、文化などを教材に取り入れます。

《保健体育》

- (体育) 運動量の確保を基本とし、ルールとマナーを守り、規律ある雰囲気の中で、運動することの楽しさや喜びを感じ、積極的に取り組めるような授業を目指します。また、生徒の発言する機会を増やし、自主的に授業を作り上げていくよう工夫をしていきます。
- (保健) 生徒が興味をもって楽しみながら取り組める授業展開を考え、規律ある授業を通して、生涯にわたって、自らの健康を適切に管理し、改善していける態度が育つよう指導していきます。

《商業》

- 検定取得のための補習時間を延べ年間300時間以上行います。
- 全商検定3種目以上1級合格者を学年の20%以上となるよう指導します。

《芸術》

- 視聴覚教材等を利用して、多様な芸術活動を学習します。
- 日常生活に関連のあるテーマを教材にして、芸術を学習します。

退職・転出された先生方

宇田 好孝	先生 (教頭)	定年退職
大上 友子	先生 (国語)	県和歌山高校へ
小島 欣幸	先生 (地歴)	向陽高校へ
宇田 泰子	先生 (英語)	那賀高校へ
楠見 佳子	先生 (事務長)	伊都中央高校へ
濱ノ上 嗣雄	先生 (事務)	紀北工業高校へ
山本 桂子	先生 (養護)	長田小学校へ
梅本 誠也	先生 (数学)	熊野高校へ
山本 茜	先生 (英語)	伊都中央高校へ

転入された先生方

前田 道男	先生 (教頭)	粉河高校定時制から
井端 恵理	先生 (国語)	粉河高校から
小西 聖子	先生 (地歴)	和歌山商業高校から
松下 幸嗣	先生 (地歴)	県和歌山高校から
杉岡 智子	先生 (英語)	橋本高校から
衣笠 豊彦	先生 (英語)	向陽高校から
上岡 久美	先生 (養護)	串本古座・古座高校から
小山 哲司	先生 (事務長)	伊都中央高校から
岡野 直文	先生 (事務)	県教育委員会から
集田 千津子	先生 (数学)	きのかわ支援学校から
小川 雄大	先生 (理科)	

5月の主な学校行事

7日(火)	1学期中間検査時間割発表 新体力テスト(4・5・6限)
8日(水)	2年進路講演会
10日(金)	3年学校別進路説明会(5・6限)
14日(火) ~17日(金)	1学期中間検査
17日(金)	県高校総体壮行会 熱中症講演会(1年)
18日(土)	看護医療記述模試(3年希望者)
21日(火)	1年大学訪問(全員) 教育実習開始

